

地域社会の活性化を実現し、 100年続く 「地域密着ライフスタイル 総合(創造)企業」を目指します

代表取締役社長執行役員 **平松正嗣**

株主の皆さまにおかれましては、日頃より当社グループの事業、経営に対するご理解を賜り、心よりお礼を申し上げます。

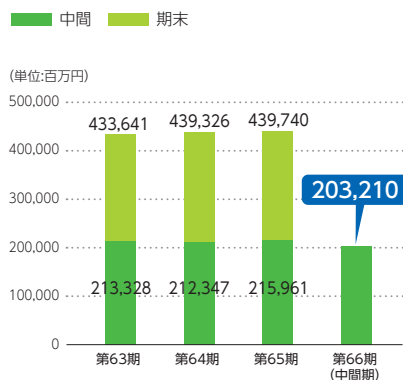
ここに、第66期中間報告書をお届けいたします。

国内小売業界におきましては、行動制限の解除により前期のような営業時間の短縮や休業は発生しなかったものの、「巣ごもり消費」の恩恵を受けていた商品については需要が減少しています。また、供給面の不安や原材料価

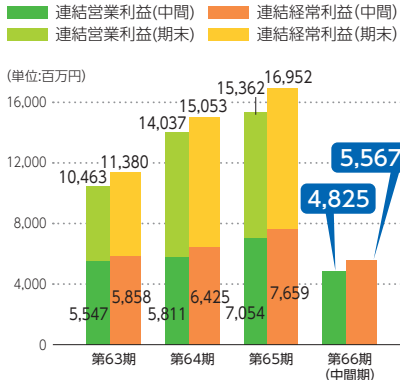
格の動向により、商品仕入価格や光熱費が高騰するなど、業界を取り巻く環境は非常に厳しくなっています。加えて、顧客満足度向上及び販売力向上と生産性改善のための投資を積極的に実施したことで、投資に伴う一時費用が増加しました。以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、営業収益2,032億10百万円(前年同期2,159億61百万円)、営業利益48億25百万円(前年同期70億54百万円)、経常利益55億67百万円(前年同期76億59

当社グループの営業成績等 (2022年8月20日現在)

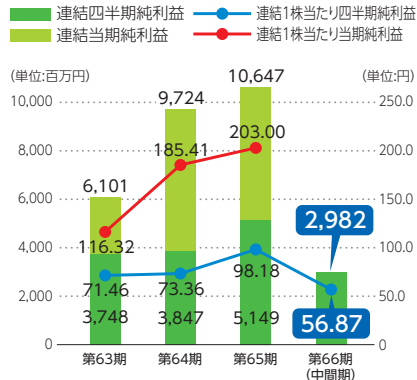
連結営業収益



連結営業利益／連結経常利益



連結四半期(当期)純利益／連結1株当たり四半期(当期)純利益



※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、第66期中間期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

Top message

百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、29億82百万円(前年同期51億49百万円)となりました。

創業以来、地域の方々にとってなくてはならないお店を目指してきた平和堂グループは、2018年に中長期ビジョン「地域密着ライフスタイル総合(創造)企業」の実現を掲げました。既存事業の成長だけでなく、地域の生活全般に目を向け、地域に根差した新しい事業の創出に取り組み、当社グループの持続的な成長を目指しています。

さらに2021年、平和堂グループは「サステナビリティ・ビジョン」を策定し、これまでの取組みをサステナビリティの観点で改めて整理するとともに、基本方針を定め、重要課題を特定し、施策、目標値を設定し、取組みを進めております。

平和堂は、2022年4月に東京証券取引所市場第一部からプライム市場へ移行しました。より高いガバナンス水準や持続的な成長、中長期的な企業価値の向上が求められるプライム市場において、どのような環境下であったとしても、やるべき取組みを確実に実行していくことが私達の責任だと考えています。「地域を元気にする」ことを原動力として100年企業を目指し、当社グループが持続的に成長し続けられる事業展開、投資を進めてまいります。

株主の皆さまには、一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2022年10月

■平和堂グループのサステナビリティ・ビジョン
100年企業に向けて。
平和堂グループは、事業を通じた
「地域社会の課題」・「地球規模の課題」の解決と
グループの成長の両立を目指します。

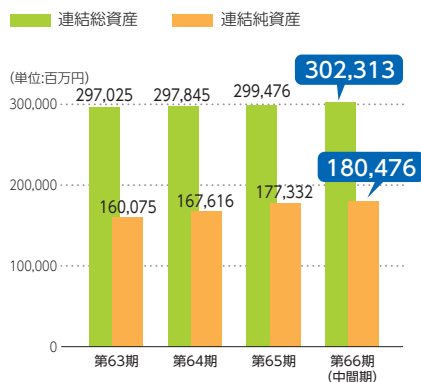


平和堂サステナビリティ・ビジョンについてはウェブサイト内平和堂レポートをご覧ください。

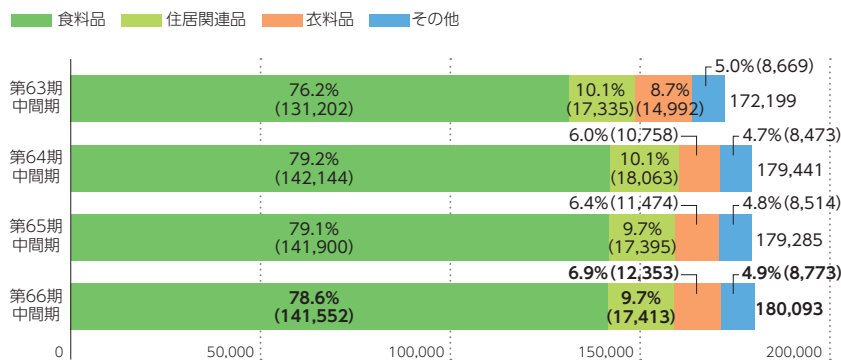


URL https://www.heiwado.jp/csr#link_vision

連結総資産／連結純資産



単体部門別売上高 (単位:百万円)



※「単体部門別売上高」は、収益認識に関する会計基準適用前に組み替えた数値を表しております。